

印旛沼流域水循環健全化  
緊急行動大会について

# 印旛沼流域水循環健全化 緊急行動大会

～ 印旛沼再生のための緊急行動をはじめます！！～



多くの方々に御参加いただきました。



---

**日時:** 平成16年2月3日(火) 開場 12:00、開会 13:00、閉会 16:30

(入場無料)

**場所:** 佐倉市民音楽ホール(京成臼井駅 徒歩4分)

**参加者数:** 約750名(満席となりました。)

## **主催：千葉県・印旛沼流域水循環健全化会議**

千葉県、学識者、流域15市町村(千葉市、船橋市、成田市、佐倉市、八千代市、鎌ヶ谷市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、印旛村、本埜村、栄町)、印旛沼土地改良区、印旛沼漁業協同組合、財団法人印旛沼環境基金、環境団体(NPO印旛沼広域環境研究会、佐倉印旛沼ネットワークの会、NPO印旛野菜いかだの会)、国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所、農林水産省関東農政局利根川水系土地改良調査管理事務所、独立行政法人水資源機構

## **共催：印旛沼水質保全協議会**

千葉県、千葉県水道局、千葉県企業庁、千葉市、船橋市、成田市、佐倉市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、印旛村、本埜村、栄町、独立行政法人水資源機構、印旛沼土地改良区、印旛沼漁業協同組合、JFEスチール株式会社、印旛沼環境団体連合会

## **後援：**

千葉日報社、千葉テレビ放送、広域高速ネット296、bayfm78、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社、京成電鉄株式会社、(財)印旛沼環境基金、印旛沼環境団体連合会、千葉県工業用水協会、千葉県河川協会、利根川治水同盟千葉県支部(順不同)

# 印旛沼流域水循環健全化緊急行動大会 アンケート結果

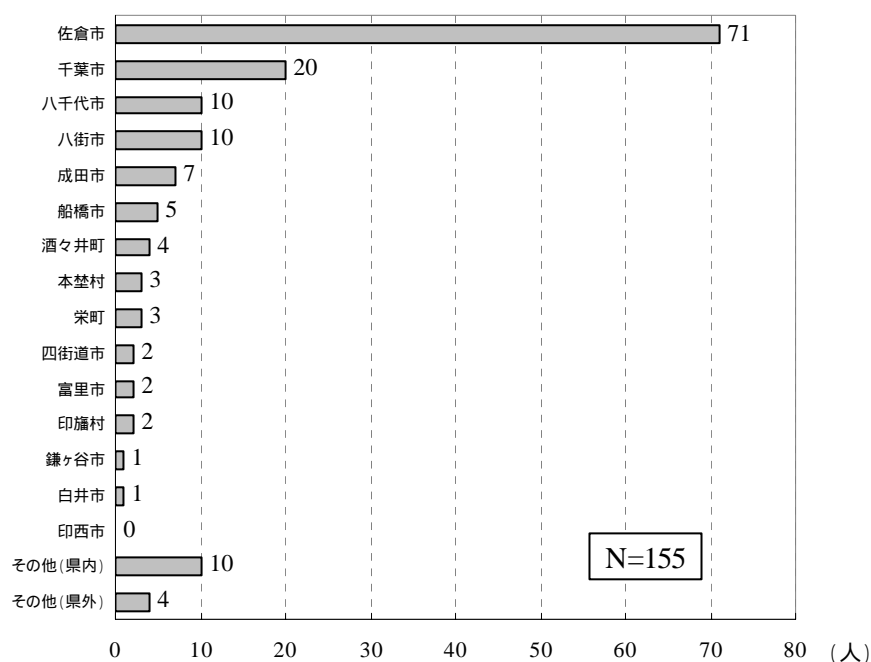
グラフ中のNは有効回答数を示す。

アンケート回収率：約 22%

## 【アンケート回答者の内訳】

### 1. 住所

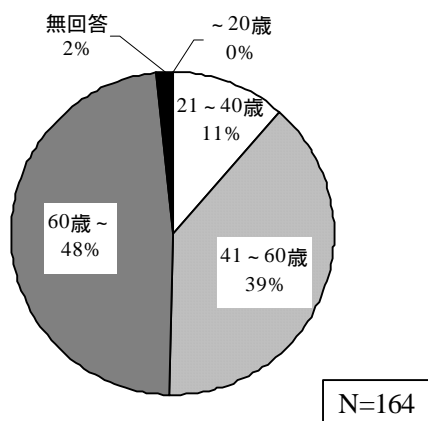
- ・ 流域内の 15 市町村からの参加者が 9 割を越えている。
- ・ 佐倉市からの参加者が最も多い。



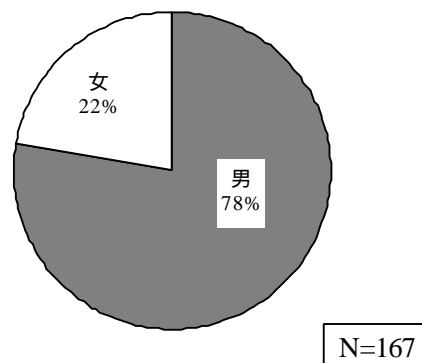
### 2. ~ 4. 年齢、性別、職業

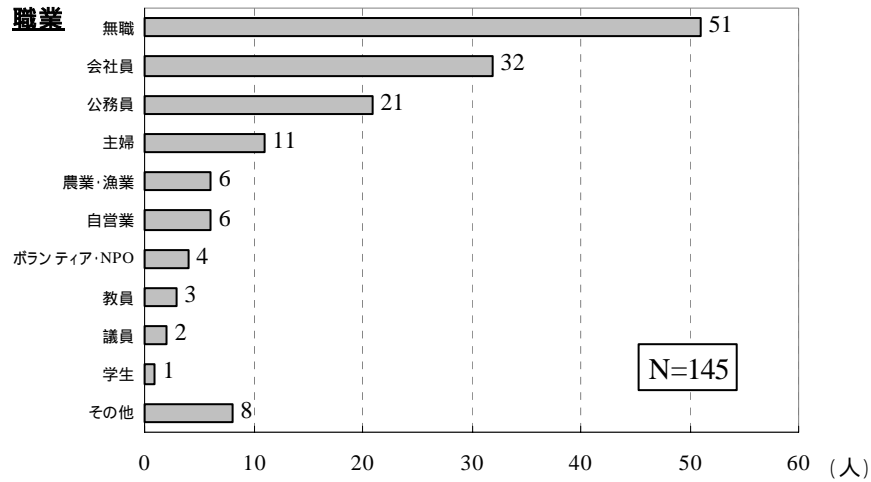
- ・ 年齢別では、20 歳以下の参加者は 0 人で、60 歳以上が約半数を占めており、世帯主の参加が多いことが考えられる。
- ・ 性別では、男性が約 8 割を占めている。
- ・ 職業別では、主婦や自営業など、NPO も多く、幅広い層の方々に参加している。

年齢



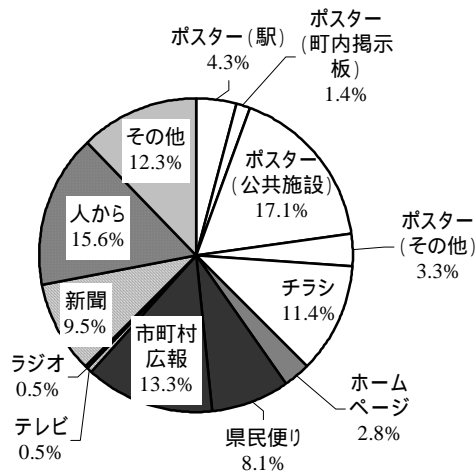
性別





5. この大会を何で知りましたか？（複数回答）

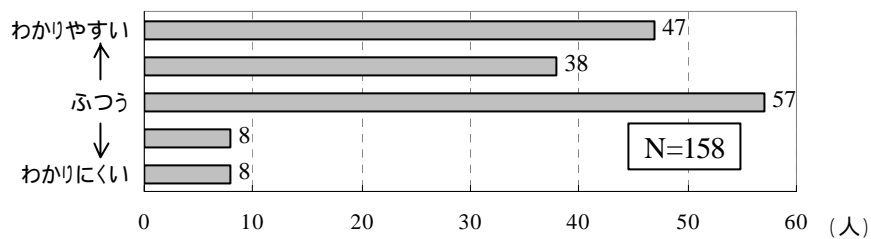
- ・ 約 4 割の人が、ポスターあるいはチラシによって大会の開催を知ったと回答している。
- ・ 県民便りあるいは市町村広報など、行政からの情報入手が約 2 割を占めている。



6. 緊急行動計画について

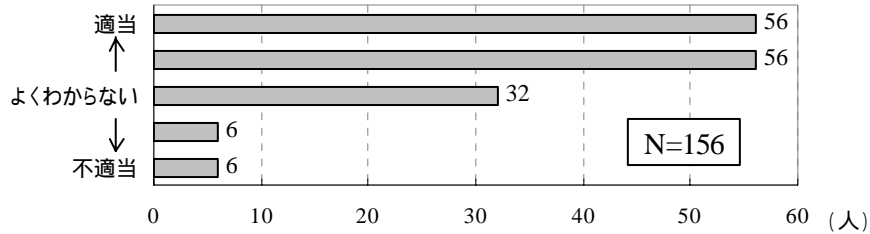
（ア）内容のわかりやすさ

- ・ 約 9 割の人が、ふつう～わかりやすいと感じている。



(イ) 計画の目標

・ 約 7 割の人が、目標は適当であると考えている。

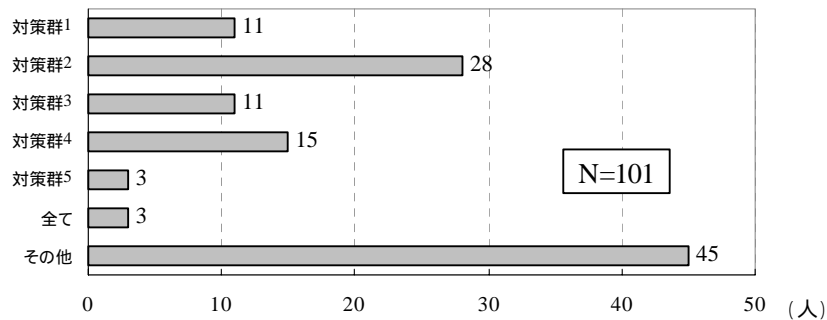


7. 緊急行動計画の対策について (複数回答)

- 対策群 1 : 雨水を地下に浸透させます
- 対策群 2 : 家庭から出る水の汚れを減らします
- 対策群 3 : 環境にやさしい農業を推進します
- 対策群 4 : 湧水と谷津田・里山を保全・再生し、ふるさとの生き物を育みます
- 対策群 5 : 水害から街や公共機関を守ります

(ア) 特によい (効果が高い) と思う対策

・ 対策群 2 を、効果が高いと考える人の割合が多い。

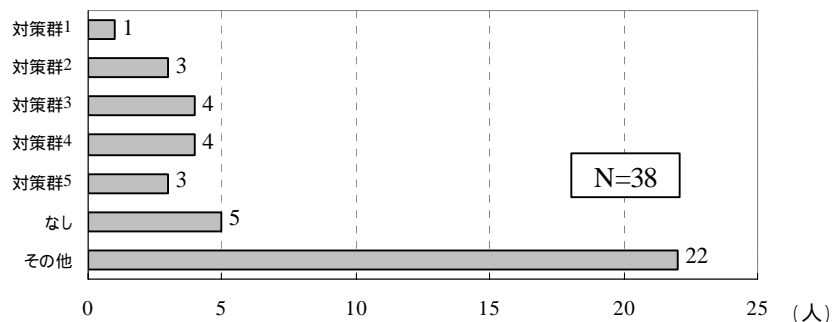


その他の意見 (カッコ内は同意見の数)

- ・ 流動化 (8)
- ・ みためし計画 (3)
- ・ 住民への啓発 (2)
- ・ 環境教育
- ・ 排水処理施設の整備
- ・ 資料にじっくりと目を通してから答えたい。 等

(イ) あまり良くない(効果が乏しい)と思う対策

- ・ 良くないと思われる対策を、具体的に挙げる意見は少ない。
- ・ 住民への呼びかけが弱いとの意見が見られる。

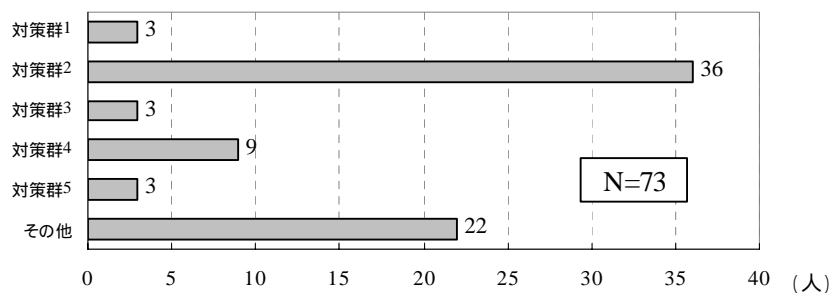


その他の意見(カッコ内は同意見の数)

- ・ 住民への呼びかけが弱い。(7)
- ・ 対策が具体的でない。(5)
- ・ 水質の目標値が低い。 等

(ウ) 実際に取り組みようと思う対策

- ・ 約半数の人が、身近に感じられるという理由で対策群2を挙げている。

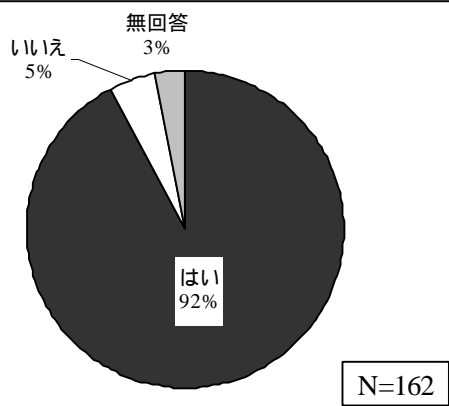


その他の意見(カッコ内は同意見の数)

- ・ 浚渫(2)
- ・ 沼の現状を知る。(2)
- ・ インターネットによる情報発信(2)
- ・ 微生物を用いた試験工事
- ・ 石けん作り
- ・ 垂れ流しを厳しくチェックする。 等

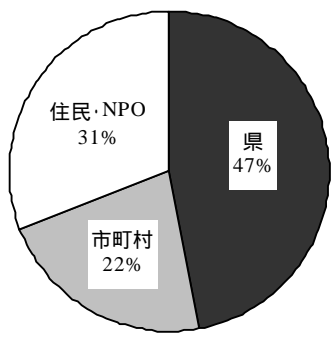
8. 今後も同様の大会を継続した方がよいと思いますか。

・ 9割以上の方が今後も同様の大会を継続した方がよいと考えている。



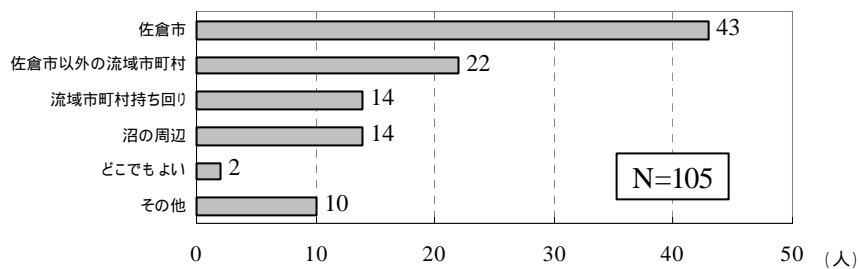
付問1：主催者はどの団体がよいと思いますか。

・ 県あるいは市町村の行政が主催者である方がよいと考える人が、約7割を占めている。



付問2：開催地はどこがよいですか。

・ 流域市町村のうち、佐倉市での開催がよいと考える人が最も多く、約4割を占めている。  
 ・ 約1割の人が、市町村持ち回りで開催すべきだと回答している。





9. その他、ご自由にご意見をお書き下さい。

項目	意見（カッコ内は同意見の数）
(1)大会の運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来賓の挨拶と紹介が長く、大会がセレモニー化している。（7）</li> <li>・ 健全化会議の編成が行政と男性に偏っているのが残念である。（5）</li> <li>・ 大会を定期的で開催し、みためし計画の効果を見たり、計画の進捗を発表するといいと思う。（3）</li> <li>・ 今後の成果を公表する場を整えてほしい。（2）</li> <li>・ 計画書の中で実施主体団体を挙げているが、順番はなぜ住民が先なのか。</li> <li>・ パワーポイントが見つらなかった。</li> <li>・ 委員に教育関係者が少ないことが残念である。</li> <li>・ 市町村長フォーラムがよかった。</li> <li>・ 大会開催やパンフレットに費用をかける必要はない。</li> <li>・ 千葉市民と市長に参加してもらい、水を飲んでいる立場の意見を聞きたかった。</li> </ul>
(2)緊急行動計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアやNPOなど、住民が主体的に活動すべきである。（5）</li> <li>・ 取り組みや計画を具体的に示してほしい。（4）</li> <li>・ 情報公開が少なく、遅すぎるのではないか。（3）</li> <li>・ 行政によるアピールをもっと強く行ってもらいたい。（2）</li> <li>・ 取り組みの開始が遅い。（2）</li> <li>・ 対策の目標を数値化したほうがよい。（2）</li> <li>・ できることから実行して、目標達成までの期間の短縮を検討してほしい。（2）</li> <li>・ 緊急行動計画を知っている住民は少ないと思う。（2）</li> <li>・ 緊急行動計画の位置付けがわからなかった。（2）</li> <li>・ 計画を実行することに力を入れてほしい。（2）</li> <li>・ 計画未達成時の責任はどうするのか。</li> <li>・ 市町村がどのように協力し合うのかがわからない。</li> <li>・ 県民運動として盛り上げたい。</li> <li>・ 今まででは手賀沼に傾倒しすぎだったのではないか。</li> <li>・ 産、官、民が協力していけるといい。</li> <li>・ 市民参加型の調査を行うのであれば、結果を元に改善策などの提案をしてほしい。</li> <li>・ 健全化会議の関係機関を拡げてはどうか。</li> <li>・ 目標に水道水源としての視点が入っていない。</li> <li>・ 課題毎にリーダー的団体を決めてはどうか。</li> </ul>

項目	意見（カッコ内は同意見の数）
(3)具体的対策 について 提案・要望	<p>1)雨水浸透対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンクリート三面張りの水路を見直してほしい。</li> <li>・ 遊水池を利用拡大して、流出対策を行ってはどうか。</li> </ul> <p>2)家庭雑排水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民の意識啓発を積極的に進めるべきである。（４）</li> <li>・ EM菌等の微生物による浄化計画を検討してほしい。（２）</li> <li>・ 下水道の接続を推進するために、積極的に助成を行うべきである。（２）</li> <li>・ 家庭雑排水対策として、台所に貼れるようなキャッチフレーズを作るのはどうか。</li> <li>・ 家庭排水対策にバイオトイレを取り入れてはどうか。</li> <li>・ 単独処理浄化槽には環境税をかけてはどうか。</li> </ul> <p>3)農業対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不耕起栽培を県の農業政策で積極的に進めてほしい。</li> <li>・ 農薬の空中散布をやめてほしい。</li> <li>・ 農村部の下水道は砂や土を利用した方がよい。</li> <li>・ 休耕田を利用してほしい。</li> </ul> <p>4)湧水・谷津田・里山・生き物対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 枯れた水生植物を除去する必要がある。（２）</li> <li>・ 水の駅等による親水拠点整備を考えてはどうか。（２）</li> <li>・ 水質浄化を進め、ハードの整備も行って、親水性を向上させてほしい。（２）</li> <li>・ 印旛沼を認識できるキャンペーンを行い、観光に力を入れたらどうか。</li> <li>・ 印旛沼周辺を禁猟区とする。</li> </ul> <p>5)水害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利水のしくみを見直す必要がある。（２）</li> </ul> <p>6)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水を抜き、ヘドロを除去して、沼の流動化を進めてほしい。（９）</li> <li>・ 環境教育を強化する必要がある。（４）</li> <li>・ 学校と協働して、印旛沼見学会を実施してはどうか。（２）</li> <li>・ 学校教育と住民が連携して、子ども達へ農薬や家庭雑排水等に対する意識啓発を進めてはどうか。</li> <li>・ 砂の浅瀬を造る。</li> <li>・ 飲料水の水源として全国ワースト１になれば国が動くのではないか。</li> <li>・ 県水道局は、水源保全のために印旛沼再生に予算を割くべきだと思う。</li> <li>・ 過去の水循環システムに戻すことが解決になると思う。</li> </ul>
(4)その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 菜の花プロジェクトは素晴らしい運動だと思った。（１０）</li> <li>・ 菜の花プロジェクトの例から、地域の活性化は経済が潤うことが必要だと感じた。</li> <li>・ エンジニアのための大会や行事を開催してほしい。</li> <li>・ 本埜村に飛来する白鳥がなぜ印旛沼でなく水田を選んだのか考えることが、水質問題の解決にならないか。</li> <li>・ ひまわり油の活動を始めたが、課題が多いので、一緒に考えてほしい</li> </ul>

